

令和5年4月3日

中予地区高等学校卓球部顧問 各位

高体連卓球専門委員 石村 昌弘

令和5年度愛媛県高等学校総合体育大会卓球の部中予地区予選会について（諸連絡）

標記の件につき、下記のとおり御連絡申し上げます。

記

1 試合規則について

- (1) 現行の日本卓球ルールを適用する。
- (2) タイムアウト制は、個人戦シングルスは準々決勝より、個人戦ダブルスおよび団体戦は準決勝より適用する。
- (3) ルール等に関するトラブルが生じた場合は、本部に連絡し指示を受けること。
- (4) **試合球は40mmホワイトプラスチック球を各校から準備しこれを使用する。**
- (5) 服装に関する規定はこれを厳守し、各高等学校顧問の責任において、トラブルの生じないよう部員にも周知徹底を図ること。なお、違反のあったチーム・選手の出場は厳に認めない。
 - ① ユニホームは、シャツ・ショーツともにJTTAが公認したものであること。
(平成27年9月1日からのルール改定により、ユニホームの主たる色は使用するボールの色と明らかに違う色でなければならない。)
 - ② 本年度交付のJTTA登録のゼッケンを背面に付すること。
 - ③ 団体戦登録選手のユニホームはシャツ・ショーツともに同一であること。
 - ④ 個人戦ダブルスのペアのユニホームはシャツ・ショーツともに同一であること。
 - ⑤ ③④でいう同一とは、同一メーカーの同一製品（同型同色）を指すものであり、多少のデザインの違い等を可とするものではない。
 - ⑥ なお、本来は2種類のユニホームを準備することが規定されているが、この点に関しては各校の事情を考慮し、1種類のみで可とする。
- (6) ラバーのはりかえ（接着剤の使用）は必ず風通しの良い屋外で、ITTF公認の接着剤を使用し行うこと。屋内での接着剤の使用、非公認の接着剤の使用や溶剤の使用が発覚した場合は、即時に、本大会ならびに上位大会への出場を停止する。

2 開場・練習及び試合進行について

**※練習については、コート及び練習時間を分けることで、フロアでの密集状態を避け実施する予定です。
詳細については、組合せ抽選会議で連絡します。会議不参加校へは送付にて周知いたします。**

4月29日（土）：チャレンジマッチを含む個人戦シングルスを決勝戦まで行う。

4月30日（日）：個人戦ダブルス戦より開始し、できる試合から団体戦を入れていく。団体戦は決勝戦まで行う。

3 その他注意事項

(1) 審判について

■団体戦は、相互審判。

■個人戦は、最初の審判のみ相互審判（番号の若いチームから出す）で、以後は敗者審判（試合結果の記録も行うこと）とする。

結果報告について

■団体戦は、勝者チームが本部へ報告。

■個人戦は、敗者が報告。敗者は、試合結果用紙を本部に持って行き報告。その後コートに戻り審判後、試合結果を記入し敗者に結果用紙を渡す。

- (2) 団体戦のベンチに入ることのできる人員は、登録選手7名・監督1名とする。審判要員は認めない。ベンチは番号の若いチームが本部席に向かって左側とする。
- (3) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。
- (4) 監督は、校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）等に必ず加入していることを条件とする。また、申請書ならびに傷害・賠償責任保険のコピーを卓球専門部委員に届け出をすること。監督者はベンチに入る際に監督ワッペン（監督登録証）を着用すること。
- (5) 団体戦の開始から終了までの間、選手はベンチから離れてはならない。やむを得ぬ理由でベンチから離れる場合は、相手チーム監督の許可を得ること。
- (6) 個人戦は県大会決定戦よりアドバイザーを認める。アドバイザーは、本大会の監督又は当該高校の選手に限る。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。アドバイスができるのはタイムアウト時とセット間の1分間のみで、他のポイント間やラリー間等に技術的・戦術的なアドバイスをしてはならない。また、個人戦においてはアドバイザーには抗議権はない。
- (7) 選手は高校生らしいマナーに徹すること。バッドマナーに対しては次の罰則を課す。
警告 → 失点 → 失格
- (8) 団体戦登録選手の変更は認めない。申込書が提出された後の個人戦の選手変更はいかなる理由があろうとも一切認めない。
- (9) 選手は必ず所定のゼッケンを着用すること。ゼッケン未使用の選手は試合を行うことはできない。**なお、本大会に限り、前年度のゼッケンならびに簡易ゼッケンの使用を認める。**
- (10) **ゴミは各チームの責任において処理し、帰る際必ず持ち帰ること。**
- (11) シューズ・靴は、各自が管理し、脱ぎ散らさないこと。
- (12) **団体戦初戦のオーダー用紙提出は切は、ダブルスの進行状況により対戦可能となり次第放送にてアナウンスするので、その後5分後を目安として速やかに提出する。**なお、一度提出されたオーダーの変更は一切認めない。用紙には、1枚に左右に同一のオーダーを記入し本部に提出すること。
 - ① オーダーはフルネームで記入し、裏面にも必要事項を記入する。
 - ② 1・2番のシングルス出場者同士でダブルスを組むことはできない。ただし、4・5番の出場者同士でダブルスを組むことはできる。
- (13) 観覧席での応援は、座って行うこと。
- (14) 組合せ抽選会は、4月18日（火）の予定です。組合せは、18日（火）以降に、愛媛県高体連卓球専門部ホームページ（<http://ehimekoukoutakkyu1.g1.xrea.com/>）に掲載予定です。

***新型コロナウイルス感染症等の関係で上記内容に変更がある場合は、メールまたはFAXで各校に連絡をするので、そちらで確認すること。**

○ 連絡先 〒790-8521 松山市持田町二丁目2番12号

松山東高等学校 石村昌弘 TEL 089-943-0187 FAX 089-934-5766